

袖ヶ浦発電所の竣工について ～出力調整に優れたガスエンジンにより系統安定化・再エネ普及拡大に貢献～

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、本日、袖ヶ浦LNG基地内に建設した袖ヶ浦発電所（以下「本発電所」）の竣工式を執り行いました。

本発電所は、ガスエンジン10台で構成され、ガスエンジンの起動即応性の高さ^{*1}を活かした柔軟な出力調整が可能です。東京ガスグループは、再生可能エネルギーの出力や電力需要の変動による市場ボラティリティ（電力市場価格の変動）に対応し、系統安定化および再生可能エネルギーの普及拡大に貢献するための調整力^{*2}の一つとして本発電所を活用していきます。

東京ガスは、グループ経営ビジョン「Compass2030」で「価値共創のエコシステム^{*3}構築」ならびに「CO₂ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。一人ひとりの暮らしから地域社会にいたるまでの多様な課題を解決するさまざまなサービスを創出・提供し、お客さまとともにカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。



袖ヶ浦発電所 全景



竣工式の様子

【袖ヶ浦発電所の概要】

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 発電所名 | 袖ヶ浦発電所 |
| 所有者 | 東京ガス株式会社 |
| 建設 | 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社、清水建設株式会社 |
| 発電方式 | ガスエンジン発電 |
| 発電端出力 | 97,800kW（1～10号機 各9,780kW） |
| 燃料 | 天然ガス |
| 所在地 | 千葉県袖ヶ浦市中袖1-1 東京ガス袖ヶ浦LNG基地内 |

* 1：起動時間が短く、停止状態からでも迅速に電力供給を開始することが可能

* 2：東京ガスグループでは本発電所を始めとするガスエンジン発電所、LNG火力発電所、系統用蓄電池等を活用

* 3：多くの企業が、それぞれ強みを持つ領域の技術・ノウハウ・知見を持ち寄り新たな価値を創出していく事業生態系